

令和4年度第4回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和4年6月10日(金) 午後1時31分～午後3時36分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章
委員 加 藤 洋 之 合宿の里・スポーツ推進課長
委員 山 田 敦 久 坂 本 英 樹
委員 多 田 千 鶴 社会教育課長 武 山 鉄 也

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

1 教育長挨拶

本日は、午前中に定例校長会議を開催したところである。6月に入ったが、もう少し暖かくなってもらいたいという気温が続いている。6月4日も気温が上がらず寒かったが、士小、南小、糸小・朝中の合同運動会が開催された。各校の運動会の様子を見せていただいたところ、昨年まで実施を控えていたPTAの種目や団体競技などが復活しており、少しずつウィズコロナの状況になってきていると感じた。

児童・生徒等の新型コロナウイルス感染の状況について、先週は新規感染者がいなかったが、今週に入り感染の報告を受けている。同居家族にも感染が広がっているほか、放課後等デイサービスセンターにも影響が及んでおり、改めて感染拡大防止の徹底を図る必要があると考えている。校長会議の場でもマスク着脱の対応について説明したが、基本的に取扱いが変更された訳ではない。また、部活動等の大会参加にあたっては、多くが大会当日の2週間前からの健康観察を求められているが、オミクロン株の特性として症状が表れた2～3日前が発症日とされていることを考えると、健康観察期間についても見直すべきとも感じている。中には、修学旅行の直前に学童野球大会が開催されることになり、無事に修学旅行に参加できるか気をもんでいる学校もある。PCR検査、抗原検査などを実施し、客観的に確認することができれば他の児童や保護者も含めて、安心することができると思う。このまま感染者が減少していくことを期待している。

昨日は、本市で名寄・士別地区中体連の陸上大会が有観客で開催された。3年前の大会では男子100メートルに出場した生徒が3組あったが、今年は2組と減少した。また、剣淵中からの出場者がいなかったほか、名寄では数年前から陸上部が廃部となっているとの話もあった。少子化の影響も含めて、部活動の見直しを行う必要があり、まさに過渡期にあると感じている。

合宿については、今年度2チーム目となるセンコー女子陸上競技部が来士している。また、日本郵政グループ女子陸上部は、チーム本体の合宿は千歳市で行っていたが、オレゴンで開催される世界陸上に出場する鈴木選手、廣中選手や期待の新人の山中選手は本市で調整した。今後も人的つながりも大切に、単なる合宿の受入れだけでなく、市民にも応援してもらえる環境を作っていきたい。

本日もよろしく願います。

2 議事について

○中峰教育長 進行

議案第11号 「令和4年度士別市教育委員会補正予算」について説明を求める。

○三上部長

現在、原油や資材費などが高騰しており、給食の食材も例外ではない。給食費を値上げすることなく学校給食を提供し続けるため、物価高騰影響額を学校給食会に交付するものであり、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業として申請する。保護者の負担は解消されるが、教職員については対象とならない。また、本市から給食を提供している和寒町でも同様の申請を行う。本定例会の最終日に補正予算が提案されることになる。

○中峰教育長

議会の代表者会議で出されていた意見等について報告願う。

○三上部長

物価高騰分をもっと多く見ておくべきではないか、今回の補正額で不足しないかとの意見があった。今後の動向はわからないが、次の機会があればさらに申請するか検討したい。

○中峰教育長

議案第12号「行政手続における押印見直しに伴う規則・訓令の改正」について説明を求める。

○須藤課長

全国的に押印の見直しが行われているが、本市においては7月1日付けで規則、要綱等を整理することとなった。教育委員会の関連で規則を改正するものが20件、要綱等を改正するものが11件ある。その多くは申請様式などに押印する欄を削除するものであり、市の改正に合わせ7月1日付けで施行する。

○中峰教育長

「土別市文化・スポーツ大会等参加奨励要綱」では、誰の印を押すことになっているのか。

○三上部長

学校長の印を押すことになっている。

○中峰教育長

「土別市文化賞条例施行規則」については改正の必要はないのか。

○武山課長

元々押印を求めている。

○中峰教育長

押印の見直しは時代の流れによるものではあるが、教職員の出勤簿も押印不用とされるなかで、何かあった際の確認は何をもって行うのかと考えるところもある。以前、服務に関する調査が入り、勤務実態を厳密に確認されたことがあったと聞いている。

3 その他

◇第2回定例会一般質問について

三上部長説明。

○加藤委員

質問にある奨学金の返還制度はUターン者を対象として考えているものなのか。

○中峰教育長

定住促進も目的とされているところから、Uターンのみならず、IJターンも対象になると想定される。定住期間など線引きをどうするか難しいところである。他自治体では、企業が肩代わりするという例もあるようだ。

○加藤委員

人材不足を補うためにも、このような制度設計が実現できればよいと思う。

○中峰教育長

民間企業でも同様だが地元に戻るきっかけとして有効とも思う。一方で、入学金を対象とする形での支援も検討に値するのではないか。

○加藤委員

農業者の場合でも償還が軽減されれば定住・就農拡大につながるのではないか。

○中峰教育長

就農支援については、既に別の支援制度もある。奨学金については、向学心がありながら経済的理由などで修学が困難な人に対する制度が基本となっている。

コロナ対応については、各地の保健所が対応できない状況になっている。症状が出ないと検査が受けられない。一方で、自分で抗原検査を行う場合、きちんと検体が採取できたのか、大人がやっても不安を感じるところであり、子どもの場合、さらに適切に実施できているか、難しいとも考えられる。

○加藤委員

マスクの取扱いも状況によって様々であり、「外してもいいよ」との指導が必要である。給食は「黙食」しているが、会話を通してのコミュニケーションも大切であり、より工夫していく必要があると思う。

○中峰教育長

マスクの要・不要を子どもたちが自分で判断するのは、特に低学年は難しい。熱中症のリスクに配慮しつつ、その都度教職員などが指導・助言することが必要である。マスクの要・不要についての保護者の考えも両極にあるようだ。

○加藤委員

外食の基準も緩和されてきている。マスクを着用した状態であれば会話してもよいことにするなど、徐々に対応を変えていかなければと思う。

○中峰教育長

名寄市では、本市よりも宴会等が増えているとの話も聞いている。

○加藤委員

過日、市内中学校でLINEによるトラブルがあったとの情報があったが、教育委員会には報告されているか。

○山田委員

子どもは、ただ単に行為そのものが楽しと誤ってしまい、自分が他者にされたり、自分がしてしまったことの重大さに気づかないことが多い。結果的に、いじめに該当するか否かも状況に応じて適切に判断しなければならない。

○中峰教育長

いじめのアンケートや体罰調査に加え、道教委では本年度から新たに「おなやみポスト」が開設されることになったが、その手法が適切か、また実効性がどの程度あるかは未知数である。

○山田委員

携帯のアプリケーションによる位置情報を使って仲間外れにする事案もあるようだ。保護者は子どもがどんなアプリを入れているかわかっていない場合も多い。

○馬場職務代理者

特にナイーブな子どもの場合、その後のことがとても心配になる。

○加藤委員

学校からマチコミメールで連絡が来ても、確認していない親もいると聞いている。

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

○坂本課長

「サフォークランド土別ハーフマラソン大会」を3年ぶりに開催する。申込締切は5月29日までとしていたが、6月12日までインターネットで申し込みが可能となっている。現在のところ1,500人くらいの申込みがある。招待選手の数減っているが、良い大会となるよう準備したい。

○馬場職務代理者

チャレンジデーの際にボッチャを体験してきた。参加人数は少なかったが楽しいひと時を過ごしてきた。参加者の中から「サークルができれば良い」との意見も出ていた。また、上土別小や東高校の児童・生徒も参加しており、楽しんでいる様子が伝わってきた。

○中峰教育長

6月19日に予定していた上土別地区の運動会が中止になったため、学校の体育祭として参加する予定だった東高校は別の日程・内容で開催を検討するとのことである。コロナの影響で3年生は一度も体育祭を経験せずに卒業することになりうるため、何らかの形で開催できないかと考えている。

午後3時36分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中 峰 寿 彰

会議録調整者

須 藤 友 章